

介護実務者研修科2



- ・基本的な介護技術と知識を習得し、介護関連業務を行う能力を養成します。
- ・福祉用具に係る助言・提案ができる人材を育成します。



～訓練内容～

◇募集案内◇

取得目標資格	◇介護福祉士実務者研修修了 ◇福祉用具専門相談員	受講料	無料
訓練期間	令和4年9月6日(火) ～令和5年3月3日(金)【6か月間】	自己負担額	◇テキスト代:16,137円(税込) ◇職業訓練生総合保険:4,900円(加入必須) ◇健康診断実施費用(実施機関により異なる) * 訓練開始前に実施する必要はありません。 健康診断についての詳細は、訓練初日のオリエンテーションで説明します。
訓練時間	9時10分～ 16時10分又は17時10分		
訓練施設	ディスプレイカレッジ青森校 住所:青森市中央3-20-26 電話:017-718-1541 駐車場:月額3,000円(税込) *台数に限りがあり、遠方の方が優先です。		
カリキュラム	※詳細は裏面をご覧ください。		
定員	20名		



～応募方法～



対象者	ハローワークに求職申込みを行い、ハローワークの受講指示・受講推薦・支援指示のいずれかを受けた方		
応募書類	受講申込書(各ハローワーク・ハローワークヤングプラザに備え付けてあります。) * 受講申込書には写真(縦 30mm×横 24mm)の添付が必要です。		
応募先	各ハローワーク・ハローワークヤングプラザ		
募集期間	令和4年7月1日(金)～令和4年8月16日(火)		
選考方法	訓練の必要性等を総合的に勘案し書類選考します。		
選考結果	本人あてに郵送により通知します。【令和4年8月26日(金)発送予定】		



お申し込み
お問い合わせ

ハローワーク青森	017-776-1561
ハローワーク弘前	0172-38-8609
ハローワーク野辺地	0175-64-8609
ハローワーク五所川原	0173-34-3171
ハローワーク黒石	0172-53-8609
ハローワークヤングプラザ	017-774-0220

※本訓練は、受講希望者の応募状況等により実施されない場合がありますので、予めご了承ください。

実施主体

青森県立青森高等技術専門学校
青森市大字野尻字今田43-1
017-738-5727

訓練カリキュラム

コース区分	知識等習得	訓練科名	介護実務者研修科2	定員	20名
訓練期間	令和4年9月6日～令和5年3月3日			6か月間	
想定就業先	介護関連施設、医療機関における介護職員、福祉用具貸与・販売事業所における営業、アドバイザー				
訓練目標	・介護利用者に対する基本的な介護技術と知識を習得し、在宅・施設問わず介護関連業務を行う能力を養成する。 ・介護福祉士実務者研修の養成カリキュラムを受講することにより、介護福祉士実務者研修修了の資格を取得する。				
仕上がり像	・習得した技術、技能を活用し介護関連施設、福祉関連施設などで、様々な業務に対応できる。				
資格取得	取得を目指す資格	介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員			
	取得可能な資格	介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員			
科目		科目の内容			時間
学 科 通	1	ガイダンス	開講式、閉講式、オリエンテーション		30
	2	就職支援	履歴書の作成、自己PR、キャリアコンサルティング等		
小 計					30
学 科	専 門 学 科	1	職業能力基礎講習	自己理解、仕事理解、職業意識、職場内のコミュニケーション、聴き方・話し方、ビジネスマナー	6
		2	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6
		3	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6
		4	社会の理解Ⅱ	社会と生活のしくみ、地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援法、介護実践に関する諸制度	36
		5	介護の基本Ⅰ	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12
		6	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護従事者の安全	24
		7	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション	24
		8	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24
		9	介護過程Ⅱ	利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)について事例を設定し、介護の過程、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	30
		10	介護過程Ⅲ-1	介護過程の展開の実際(多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する)	30
		11	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	24
		12	こころとからだのしくみⅡ-2	人間の心理、人体の構造と機能	48
		13	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12
		14	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24
		15	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本	12
		16	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人への支援の実際	24
		17	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本	12
		18	障害の理解Ⅱ	医学的側面から見た障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際	24
		19	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	60
		20	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	福祉用具の役割、福祉用具専門相談員の役割と職業倫理	4
		21	介護保険制度等に関する基礎知識	介護保険制度等の考え方と仕組み、介護サービスにおける視点	6
		22	高齢者と介護・医療に関する基礎知識	からだこころの理解、リハビリテーション、高齢者の日常生活の理解、介護技術、住環境と住宅改修	22
		23	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の特徴	10
		24	福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識	福祉用具の供給の仕組み、福祉用具貸与計画等の意義と活用	9
		25	福祉用具専門相談員修了評価	確認試験等	2
		26	修了評価	修了テスト	5
		27	安全衛生	労働衛生管理、安全衛生	1
小 計					497
学 科 計					527
実 技	1	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、生活支援技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備、福祉用具の活用等の視点	24	
	2	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術(環境整備、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息、睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具等の活用)	38	
	3	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	24	
	4	こころとからだのしくみⅡ-2	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	24	
	5	医療的ケア演習	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習	18	
	6	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の活用	10	
	7	福祉用具の利用の支援に関する総合演習	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	6	
	8	企業実習	施設サービス、居宅サービス(訪問介護、通所介護、短期入所生活介護)、地域密着型サービス(グループホーム、小規模多機能型居宅介護)、障害福祉サービス	24	
実 技 計					168
総 合 計					695